

あわゆず ふれず

第38号 2022年5月10日発行

伝えよう日本語を
広げよう徳島から



J T M と く し ま
日本語ネットワーク

西尾珪子先生の思いを徳島の地で受け継ぐ ～四半世紀を迎えた日本語教育普及活動～

2022年4月15日、東京都港区の国際文化会館において、公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）会長で協会創始者の西尾珪子先生を偲ぶ会が執り行われ、JTMを代表して出席しました。席に案内され開式を待つ間、式次第に記された理事長の関口明子先生の謝辞を幾度も読み返しました。「故人は日本語教育界のまさにパイオニアであり、多くの業績を残しました。そしてとてつもないオーラの持ち主であり、明るくやんちゃでカラオケの女王であり、酒豪であり、人間としてこの上もなく魅力的でした。」とある西尾先生のお人柄に思いを寄せる文面に、私用で徳島にいらした折にお声をかけていただき、メンバーと懇親の席を共にした有りし日の西尾先生のお姿がありありと目に浮かびました。

式では、関口先生のご挨拶のあと、ご遺族を代表して西尾先生のご長男が挨拶の言葉を述べられました。「この日を特に選んだわけではないだろうけれど」と前置きをされ、8月15日の終戦記念日に家族に見守られながら旅立たれた時のご様子をお話しになりました。「安らかで自信に満ち、そしてちょっと寂し気な表情で目を閉じていたことを今も鮮明に覚えている」とコロナ禍での闘病生活の寂しさに触れるお話に、きっと伝えたい思いがたくさんあったろうにと西尾先生の胸中に思いを馳せました。

西尾先生は、2005年度にJTMが在住外国人の意識調査をしていることを知り、ぜひ巻頭言を贈りたいと自らお申し出くださいました。そのときの驚きと喜び、感謝の気持ちは忘れがたく、地方の一団体の取組みにも心を寄せてくださることにとっても勇気づけられました。意識調査のおかげで、座談会やパネルディスカッションなど外国の皆さんの思いを聞く交流会や、中級日本語教室、外国にルーツを持つ子どもたちの「にほんご寺子屋」、お国自慢とポットラックパーティーなどの活動に根拠を持って取り組むことができました。巻頭言に込められた「現状に安住せず、先入観を捨てて必要とされることに取り組む」という西尾先生のメッセージは、今やJTMイズムともいえる活動の指針となっています。

本年6月にJTMとくしまは設立25年の節目を迎えます。5月14日には「ともに見る景色～私たちにできること～」と題して、10年間にわたり外国の人たちの支援に共に取り組んでいる徳島中央ロータリークラブとの共催で、外国の人たちの思いを聞き、具体化するために何ができるかを話し合う座談会を開催します。

日常を脅かす感染症や軍事侵攻、自然災害は、今や世界のどこで誰の身に降りかかっても不思議はありません。しかし、どのような状況になろうと、私たちにはできることがあるということを、活動を通して思いを同じくする方々と見出していくことができればと心に期しています。



2007年2月 西尾先生（右から3人目）との懇親のひととき

偲ぶ会で「命尽きるまで日本語教育の発展のために走り続けた故人の遺志を継いでいくうえで、皆様のご協力を心からお願いしたい」と主催者挨拶を結ばれた関口先生をはじめAJALTの先生方の日本語教育普及への思いを徳島の地でも受け継ぎ、人と人のつながりと絆を糧に、次の四半世紀に向けた一步を踏み出していきたいと気持ちを新たにしています。

（JTMとくしま日本語ネットワーク会長 兼松 文子）

コロナ禍での JTM活動

2021年度 JTMとくしま日本語ネットワーク定例会 『子どもの支援について考える会』 ー子どもへの日本語支援 その方法と実践を語るー

日 時：2022年3月5日（土）13：30～16：00（オンライン形式）

第1部：「支援の課題と今後の取り組みについて」 パネリスト：元教師5名（JTM会員）

第2部：「学習言語について」 講師：JTM日本語指導部部長

2021年度定例会として「子どもの支援について考える会」が会員限定で行われた。第1部では、日本語支援のあり方や方法、また教材について、第2部では、学習者の立場に立って考える体験などをしながら、学習言語について学んだ。

【第1部】

現職の時に受け入れた経験をもとに

現在のように「学校支援」というものが学校・教師・子どもたちに浸透していなかった当初、管理職として初めて子どもを受け入れることを決断した。身近に同じような事例もなく頼れる場所もない中、徳島県の「外国にルーツを持つ子どもの受入れ手引」に出会い、支援の方法について知ることができた。幸い、日本語指導者にも恵まれ、また学級担任の熱心な指導もあり、適切な支援を行うことができた。言葉の支援の大切さを理解し、学校や教師、子どもたちがきっと困っているとイメージしてみると何をすればよいかがおのずと見えてくるのではないだろうか。

レベルに応じた支援・・・100人いれば100通りの教え方がある

〈ゼロレベルの子どもの支援〉

話せない子どもには、挨拶や教室で使う言葉などから教え、絵カードでよく使う言葉を短い文で教える。また、絵本の読み聞かせをして、日本語のリズムや言葉に慣れるようにする。

〈低学年の子どもの支援〉

助詞の使い分けは難しいが、イラストを見て、自然に言えるように繰り返し練習することを心がける。助詞がわかるようになると作文を書くときに自信がもてる。

〈高学年の子どもの支援〉

学習指導書のCD-ROMには全文読み仮名がついたものがあり、それを活用し、とても役に立った。

〈受験を控えた子どもの支援〉

毎回、日本語の文型を一つ覚えてもらい、次に『かんじだいすき』を使って、漢字の読み、意味、例文を学ばせる。その次に、総まとめのやさしい問題集を使って、小説、評論文など一つだけ取り上げ、大事な点や解き方などを教える。そのようにして「やることは、全部やった」と自信を持たせる。

いろいろな個性を持った子どもの支援

日本語が理解できず、細かいニュアンスが伝わらない。また、日本人特有の婉曲表現がわからず、相手が言ったことを勝手に解釈してトラブルになってしまうことも多い。その子どもの個性から困ったことになりそうなことを想像し、マイナスイメージを持たれないように前もってアドバイスをしたり、子どもと学校の橋渡しをしたりして、言葉の行き違いやずれを埋めていく役割が支援者にはある。

〈席につかない子どもへの対応〉

教室にある物やおはじき、サイコロなどを使って遊びから始める。「花を描きましょう」といっしょに描きながら、「花びらが1枚、2枚」と言葉や数をリピートしながら描く。

〈泣き出した子どもへの対応〉

無理に声をかけず、絵本を読み始める。そのうちにだんだんと耳を傾けるようになる。次にリラックスさせ

るために、お手玉を使って、「投げます」「受けてください」と言って、投げたり、投げてもらったりしながら緊張をほぐし、勉強できる姿勢を待つ。

〈落ち着きのない子どもへの対応〉

まずは話したいことを話させる。次にその日の学習内容「すること」を黒板に書いて勉強内容をイメージさせる。そうすることで、どこまでできたのか、あとどのくらいやればいいのかが目に見えてわかり、落ち着いて勉強するようになる。

〈多動かつ感情の起伏が大きい子どもへの対応〉

まず、着席させるためにカードを使ってゲームをする。ひらがなを一部分だけ隠し、何のひらがなかを当てるゲームをし、子どもの興味を引き出す。当日の学習内容の教材は複数準備し、前半は子どもがやりたいことをし、後半は支援者が決めたことをするなどして、その日の集中力に応じて授業を組み立てる。

様々な教材

支援者が子どもに合わせて取り入れている様々な教材が紹介された。

- ・生活の中で使われている言葉を絵で理解できる『絵カードずかん』（KADOKAWA）
- ・語彙を増やすための『くもんのカード』（くもん出版）
- ・国によって計算方法が違うためになかなか九九が覚えられない子どものために「九九の歌」（YouTube）
- ・教科学習に欠かせない漢字学習のための『かんじだいすき』（AJALT）
- ・漢字の偏や旁などから、漢字習得に繋げるための漢字カード『漢字博士』（幻冬舎）

【第2部】

学習言語の支援について

〈日本語がペラペラなのにどうしてテストはできないのか？〉

教科書に出てくる語彙や表現を「生活言語」「学習言語（学習用語）」「学習言語（専門用語）」の三つに分けて考えた。中学校の理科の教科書の一部では「学習言語（学習用語・専門用語）」が7割を超えていた。学習するトピックの言葉「学習用語（専門用語）」は授業中に説明されるが、「学習言語（学習用語）」は内容理解には不可欠だが既知のものとされ、授業中に習うことがほとんどない上に、日常会話とは違った意味や使われ方をすることがあり、理解の壁となる。日常会話は遜色のない中学生が読めなかった言葉を黒塗りにした現代国語の文を読んだが内容がまったく理解できず、学習言語に躓いている子どもたちの現状を痛感した。

〈どのように生活言語理解から学習言語理解へ進んで行くのか？〉

まず、自分が経験したことを言葉で話す。次に自分の経験を一般的、客観的に話すことで語彙を増やしていく。最後に、自分の経験から離れて物事を推測し、目に見えないものを想像・イメージしたことを話すことで抽象的な言葉や上位語を増やし、表現を豊かにしていく。（加村 匡子）



アンケートより

- ・「子どもの個性から創造できることを支援する」「待つことが大事」というのがよくわかった。
- ・子どもの所属学級へ足を運んで他の子どもたちに学校支援者の存在を知ってもらい、サポートが必要なことを理解してもらうよう心がけているという考えをお聞きし、学校全体で子どもたちを支援するということの大切さを再認識しました。
- ・専門的な研修で、すばらしかった。子どもたちの困り感に気づかせていただいた。今回のような研修は学校現場にも伝えていき、子どもたちの学びの環境を整えていく必要があると感じた。
- ・具体例を出してもらって、はっきりと学習言語というものの存在の深さを知りました。

コロナ禍での JTM活動



学習者、受講者の声



●日本語サロン

開催日 毎週月曜日（10：30～12：00）

（コロナ感染予防のため、4/26～6/7 8/9～10/4 1/24～3/28の間 中止）

場 所 徳島県国際交流協会（トピア）6階大会議室

○日本語サロンの先生方は、常に優しく、辛抱強く日本語の勉強に付き合ってくれ、毎回先生方との会話を楽しんでいます。そのおかげでしょうか、その良い雰囲気です学習意欲が増しました。コロナ禍の中で残念ながら休会になっていますが、日本語の勉強は欠かしていません。（英語教師 ドイツ）

○卒業論文を完成させ卒業証明書を獲得しました。会話の時とは違い、文字になると間違っている箇所がよくわかります。読書感想文や各種課題を訂正していただき、間違った文との比較もでき、とても勉強になりました。（元留学生 台湾）

○今まで日本語の勉強をしたことはありません。日本語サロンが初めてです。その後しらさぎ中学校にも行くようになりました。中学校の勉強は難しいです。日本語サロンで漢字の勉強ができなくなり漢字の力が落ちました。日本語サロンがないのは不便です。早く行ってまた漢字の勉強をしたいです。（学生 フィリピン）

○毎回楽しく会話の練習ができて良かったです。一番良かったことは、会話の練習ができたことでバイト先などでも緊張しないで言葉が出てきて、楽に話せるようになったことです。また、日本語の全般的な能力向上にも大変役に立ちました。

（大学院生 中国）

○日本語サロンが再開したら是非参加したいです。

（アルバイト 中国）



●にほんご寺子屋

開催日 毎週日曜日（13：30～15：00）

（コロナ感染予防のため、4/18～6/6 7/18～10/3 1/23～4/3の間 中止）

場 所 徳島県国際交流協会（トピア）6階大会議室

○寺子屋は勉強ができて楽しい。勉強が自由にできるのでいいです。全体学習はいろいろあるからとくに楽しい。（小学生 フィリピン）

○全体学習が楽しかった。日本語が話せなかったときは、緊張してたけどだんだんなれてきて、楽しくなった。（小学生 フィリピン）

○寺子屋では先生が教えてくれる勉強がわかりやすく良かったです。全体学習は、いろいろなことができて楽しかったです。（小学生 中国）

○子どもが、日本語が話せなかった最初の頃は、勉強の方法が分からず「にほんご寺子屋」が大変役にたちました。日曜ごとに寺子屋に連れて行くのは時間が制約されるし大変だけれども、子どもは楽しそうだし勉強に役立つと思い、参加させています。（小学生の保護者）

○子どもが日本語がわからないまま小学校へ行くという状況だったので、寺子屋で教えてもらって助かった。子どもにも興味を持たせるような教え方がとても良かった。（小学生の保護者）

○寺子屋は、子どもの役に立っています。子どもは寺子屋に参加するのを楽しんでいます。希望としては、やったださっていると思いますが、海外で育ったので、日本文化を取り上げていたきたい。（小・中学生の保護者）



●日本語指導勉強会

開催日 毎月第2土曜日 (13:30~15:00)

(コロナ感染予防のため、5/8 8/14 9/11 2/12 3/12 中止)

場 所 徳島県国際交流協会 (トピア) 6階大会議室

- 毎回、とても勉強になっています。それは、制限時間のある中で、授業展開を考えてデモをするという実践的な場であること、また、これまで日本語指導に携わってこられた先輩方から、学習者の視点からと指導者からの視点との2つの視点から改善点などをご指摘いただけることなどです。指導の経験が少ない私でも自由に意見を言う機会があるなど、とても実践的な勉強の貴重な場になっています。(会員 O)
- これまで多人数を相手に何かを教える経験はありませんでした。勉強会のデモは、教室方式での日本語指導を疑似体験する絶好の機会だと思います。ティーチャートークとか、IRF/IRE型とかいう用語は知っていても、スキルとして使いこなすのは難しいものだと毎回痛感しながら頑張っています。(会員 H)
- デモを担当した時は、テキストの到達目標をふまえ、基本文型の背景・状況を考慮して導入を工夫するなどしています。説明の順序、方法、図の利用など全体の流れを考えてデモをします。なかなか計画通りにはいきませんが、改善点、反省点の気づきが得られます。また、学習者として参加すると外国人の視点でデモを体験することができ、自らのデモの在り方にも反映できます。司会者による最後の全体説明、質疑応答で毎回知識の再確認、新しい気づきが得られています。(会員 T)
- 参加しはじめた頃は先生・生徒役ともに多く、活発な意見の交換がありましたが、最近は参加者も少なくなったのが残念です。自分のスキルを上げるためにも地道に取り組む姿勢が求められていると思います。(会員 S)



●日本語講座「学ぼう日本語！ちょこっと阿波弁」

開催日時 6月14日~8月19日 (月・木) 昼の部 (10:30~12:00) 夜の部 (19:30~21:00)

形 式 オンライン

- この授業はすごく良かったです。オンラインの授業は便利だし、雰囲気がいいし、わたしの様に緊張しやすい人でも、楽しく日本語を勉強することができます。この講座で過ごした時間は、わたしにとってとても貴重なものでした。(留学生 ベトナム)
- よかったです。コロナなので家で学習できたのがとてもありがたかったです。家から時間をかけてレッスンに行かなくて良かったので便利で助かりました。毎週先生が替わるのは多すぎだと感じました。それぞれの先生によってスタイルが違うので、生徒は毎週慣れるのが少し大変だと思いました。(会社員 メキシコ)
- 今回の勉強で、みんなと少しずつ会話ができました。オンラインの授業は、よかったです。現在のコロナウイルスの状況では、オンラインの授業の方が優れています。オンラインの授業でべんきょう続けたいです。この講座が良かったです。講義が分かりやすいです。阿波弁を勉強しまして面白かったです。(アルバイト ベトナム)
- 今回の勉強はとても楽しかった。特に阿波弁が面白かった。どうもありがとうございました。もう一度勉強したいです。(会社員 ウクライナ)
- 日本語の会話を聞く時、簡単になりました。楽しいです。新型コロナウイルスがあるんですから、会って勉強できなかったのが、オンラインの授業はいい日本語勉強のチャンスです。そして、徳島市住んでいるので、阿波弁を話したいですからとても喜んでます。(留学生 中国)
- この授業はあったのは良かったです。家から出かけないで他の国の新しい友達と会いました。授業がはじまるまえに皆と話しました。話す練習にいいです。教科書もいいです。日常で使うことができます。阿波弁も面白かったです。よく聞く言葉はわかるようになりました。(実習生 インドネシア)



コロナ禍での JTM活動



2021年度写真で

JTM総会



日本語サロン



日本語指導部研修会



日本語指導ステップアップ講習会



徳島県委託夏休み子ども日本語教室



にほんご寺子屋



綴るJTMの活動

日本語指導勉強会



JTM主催日本語講座

「学ぼう日本語! ちょこっと阿波弁」



徳島県労働者福祉協議会主催 日本語講座

働く外国人のための日本語能力試験N3対策講座



読解力を高めるための日本語講座(自動車運転免許取得支援講座)



日本語能力試験N2対策講座



他にもこんな活動をしています。

- 徳島県国際交流協会「日本語教室」日曜日担当
- 学校からの要請による日本語支援
- 徳島文理大学「日本語能力試験N1対策講座」担当
- 企業での日本語教室「日本語初級会話教室」
- プライベートレッスン
- 定例会
- 運営会(オンライン会議)月1回
- 会報『スマイル通信』月1回発行
- 機関紙『あわゆずぶれす』年1回発行

INFORMATION

◆会員数(2022年3月31日現在) 正会員数37名 協力会員数4名
◆入会随時受付中! 正会員…会の活動に参加し、ともに運営を行います。
協力会員・団体…会の活動を支援する個人または団体

活動紹介

ブラッシュアップのために

- ◇日本語指導勉強会
*毎月第2土曜日13:30~15:00
〈模擬授業と意見交換〉日本語に関心のある方
ならどなたでも参加できます。
- ◇日本語指導部研修会
*毎月第2または第3土曜日
- ◇日本語指導ステップアップ講習会
*毎月第2土曜日15:00~16:30
- ◇定例会

日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン
*毎週月曜日10:30~12:00
徳島県国際交流協会(トピア)

にほんご寺子屋

- *毎週日曜日13:30~15:00
徳島県国際交流協会(トピア)

徳島県福祉基金助成金事業

オンライン日本語講座「学ぼう日本語! ちょこっと阿波弁」

2021年6月14日~8月19日 週2日(月・木)

昼コース 10:30~12:00

夜コース 19:30~21:00 各コース全20回

主催 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

読解力を高めるための日本語講座

(自動車運転免許取得支援講座)

9月1日~12月8日(全14回)

*毎週水曜日 18:30~20:30

日本語能力試験N2対策講座

9月29日(水)~12月1日(水)(全18回)

*毎週月・水曜日 9:30~12:00

働く外国人のための日本語能力試験N3対策講座

8月21日(土)~11月28日(土)

オンライン 月・木曜日 18:30~20:00 20回

スクーリング 土曜日または日曜日 5回

日本語レッスン

◇プライベートレッスン・グループレッスン

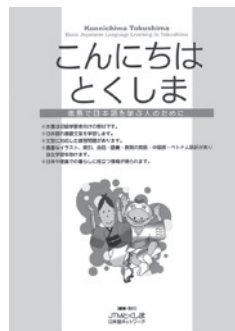
*詳しくは事務局またはレッスン専用メール
jmtoku-lesson@mbk.nifty.com まで。

JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima

こんにちは とくしま

徳島で日本語を学ぶ人のために



2020年2月
「教え方の手引き」発行

子どもと暮らすための

こんにちは とくしま

徳島で子どもを育てる人のための日本語教材



- ・全12課
- ・季節や身近な場面に合わせてどの課からでも学習できます。
- ・子育てを通して、まわりの人とうまくコミュニケーションできるようになるための表現が学習できます。
- ・学校の通知文の読み方や返事の書き方の練習ができます。
- ・生活情報がクイズ形式で学習できます。
- ・学校や生活に役立つ情報が得られます。

●ご購入・お問い合わせ JTMとくしま事務局

ご支援をいただきました

- ・徳島県福祉基金より助成金をいただきました。
- ・国際ロータリー第2670地区ロータリー財団委員会および徳島中央ロータリークラブより補助金をいただきました。

あとがき

次々と変異する新型コロナウイルス、世界各地で頻発する地震、そして今年に入りウクライナ侵攻と頭を抱える出来事が続いています。そんな中、私たちはより良い社会を目指して、身の丈に合わせたささやかな活動ではありますが、決してその歩みを止めず、積み重ねています。この1年のJTMの活動をまとめた「あわゆずぶれす」を発行しました。ぜひご覧ください。(玉置 房)

発行 行/JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者/兼松 文子

編集責任者/山満十糸子

編集スタッフ/加村 匡子・玉置 房・辻 暁子・長町 順子
村松 幸子・杜 美智・吉田 尚子・渡辺由紀子

印刷/徳島県教育印刷株

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2階

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会内

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113

E-mail jmtoku@nifty.com

URL https://jmtoku.com/

f https://www.facebook.com/jmtoku/